

上海&amp;蘇州で中国語スクールを運営する

二人の関西人による

～！新春関西弁でいたい放談！～

# 中国・中国語・ そして将来！

サブプライム問題を筆頭に始まった世界同時不況に加え、大手留学代行会社の倒産・・・かつてない厳しい時代を迎え、日本と中国をとりまく環境に混乱が広がっている。

これからの中国はどう変貌し、それによって留学や語学学習環境はどのような影響を受けていくのだろうか。

上海という中国を代表する一大都市圏で語学学校を運営している ELC の浅野潤代表と、蘇州という工業化と世界遺産の街で語学学校を運営する RLC の辰巳修一代表が、これからの中国と中国語学習の可能性について語り合った。

(企画／構成 サムライチャイナ)



浅野 潤 (あさの・じゅん)

10年間の広告代理店営業マン時代を経て、  
2001年から上海で暮らしている。

中国語スクール ELC 代表 1968年生まれ

(<http://ez-language.net>)



辰巳 修一 (たつみ・しゅういち)

中国、オーストラリア留学、自動車会社勤務  
を経て、2007年から蘇州で暮らしている。

中国語スクール RLC 代表 1978年生まれ

(<http://www.rlc-sz.com/>)

## 中国の台頭は続く

辰巳：根拠はないけどね、中国の内需は意外と世界標準より強いんじゃないかなあと思ってるけどそこらへん上海に長年住んでいる浅野先生はどう思う？ なにか体感してる？

浅野：中国の内需の強さ、これは間違いなく強いと思うね。もともとGDPの4割しか消費がない国やから、今現在の内需の潜在力はアメリカよりも強いと思う。

今後の中国消費の爆発力をしっかりと捉えること、これが今後の世界中の企業の成長のカギを握っていると思うね。



辰巳：でも、アメリカ発の金融危機の影響がジワジワと出てきたねえ

浅野：そうね。危機回避のために、内需拡大のためのバラマキ、元安への誘導策、輸入関税の還付率 up、貸出金利引き下げ、中国政策は色々やっていますが、難しいかじ取りやね。なにしろ国がデカイから。来年のGDPが8%を割るかどうかがこのあたりに注目したい。

辰巳：内需が拡大するには、一般の消費が伸びないとダメでしょうけど、そこらへんはどうですかね？

浅野：中国人と話をしていると、「アメリカ人は明日の金を今日使う、中国人は昨日の金も今日使わない」なんて言う人がいます。つまりこれは度重なる戦争や改革の歴史で身にしみている金銭感覚の問題で、使うより将来の

ために貯める人のほうが圧倒的に多いわけですね。だからGDPが伸びてもなかなか個人消費が伸びない。

ただ、これは教育水準にもよるわけなのよ。きっと。

辰巳：教育水準と消費が関係してるの？

浅野：そうです。つまり高等教育を受ける人が多くなれば、それだけ知識が増えてきて、モノの価値や種類を知りようになれば、自然に購買意欲も出てくる。これで消費が伸びます。というのも、人口の80%が農民だと言われている中国ですから、まだまだ教育水準は高くない。政府は農民の所得と教育水準を上げる努力を相当やっつて、これが成功すれば、爆発的な消費がおこるやろうね。もちろん時間はかかるとおもうけどね。

辰巳：なるほど。でも教育というものは相当時間がかかるでしょうね。

浅野：そやね。少なくとも20年～30年以上の長期計画は必要やろうね。



## 中国の食品は本当に危ないのか

辰巳：2008年は中国の食品問題でしたね。

浅野：パクリ遊園地に毒食品、環境破壊に人権問題などは悲しむべき事に真実であり、中国の一面。

でもそれが全ての真実ではないんやけどね。

辰巳：ですよね。でも何で中国はこうなんやろ？

浅野：要するにこれも教育の問題であって、モラルの問題。人のモラルというもの、これは「衣食足りて礼節を知

る”のたとえの通りだと思います。明日の衣食もままならないのに、他人のこと、環境のこと、人権のことを考えるようなキモチの余裕は出てこない。自分のこと、家族のことを考えるのに精いっぱい。だから他人が毒物で傷つこうとかまわない。

辰巳：なるほど。それで毒食品ですか。

浅野：それだけやないやろうけど、根本はそんなもんちゃう？ただ、やっとキモチ・お金に余裕が出てきたという時期でしょうから、まともになっていくのは今からやね。中国は。

辰巳：まあ、日本でも偽装問題でにぎわっていましたしね。

浅野：そうやね。日本もバブル後、不景気を10年味わって礼節がなくなってきたという感じね。

辰巳：実際に上海に住んでいて、食品に危険を感じる？

浅野：いやあ、あんまり感じないね。粉ミルクは飲まないしね。

辰巳：まあ、いずれにしても、お互い食べ物には気を付けましょうね。

浅野：まったくです。



## 中国語を活用できる時代に

辰巳：これからは中国語の時代だ！なんて10年ほど前に南京での留學生活を決めたときから考えてたけど、なんとなく、本当にそうになってきましたねえ。

浅野：そうね。日本から ELC に来られる短期留學生の

方々も、目的がはっきりしてきたような気がするね。



辰巳：たとえば？

浅野：以前は、なんとなく喋れたら楽しいかな？程度の人が多かったけど、最近目立つのは、仕事で中国語を話す必要に迫られてたりするだからね。

辰巳：そうなんや。

浅野：上海出張に1週間来て、そのうち2日を中国語の勉強にあてる人とか、有給を使って1週間勉強に来る人とか非常に多い。

辰巳：なるほどね。趣味の一つから、必要なものへ変わりつつあるわけだ。

浅野：すくなくとも、アジアマーケットを狙っている企業の従業員は、日常会話程度はマスターしておくべきやね。そういう時代になってきた。

辰巳：最近では日本に来る中国人観光客も増えてきたからサービス業なんかは、日本でも使えるしね。

浅野：銀座のアパレルショップの店員さんが、ブチ留學に来てました。理由はやっぱり「中国人に売るため」やったからね。

辰巳：なるほど。中国語が話せる日本人店員がいるショップかあ。

浅野：大きな駅のインフォメーションカウンターの職員さんも来てますよ。中国人の問い合わせが多いからって。それに、面白いのが警察官志望の人とか。

辰巳：なんで警察官が？

浅野：中国語を話せたら、希望の職場に配属されやすい  
そうよ。中国人犯罪が多いから。

辰巳：なるほどねえ。中国語を話せたら日本にいても夢  
が広がるわけやね。

浅野：そんな時代ですわ。

### 語学学校と大学の違い

浅野：ボクの大学留学話を聞いてもらってええかな。

辰巳：聞きましょう！



浅野：2001年から1年ほど上海の大学に留学してたの  
よ。

辰巳：それは知ってます。32歳のときよね？

浅野：年齢のハナシはいつでもええの！

辰巳：すみません・・・。

浅野：それで、当時は中国語の知識ゼロやったから、A  
班というところで勉強開始したわけ。汚い古い校舎で、  
平日毎日朝8時半から11時半まで。3時間。

辰巳：がんばったわけだ。

浅野：午後からも寮や図書館で猛勉強よ。焦ってたから  
ね。結構。

辰巳：32歳やし。

浅野：もうええっちゅうねん。

辰巳：ボクも南京の大学で留学してたけど、復旦はどう

やったの？

浅野：まあ、結論からいうと不満でしたね。

辰巳：そうなん？なんで？

浅野：まあ、二十歳ぐらいの学生はその程度でたぶん満  
足できると思うけど、ボクは満足できなかったね。

辰巳：どのへんが？

浅野：まず、授業の時間数。午前中だけだからペースが  
遅い遅い。

辰巳：でも、若い学生はいいね。遊べるから。

浅野：そうよ、でもこっちは焦ってるわけやからね。午  
後から予習復習をきっちりやって毎日授業に行くと、数  
週間たったら、クラスメイトとどんどんレベルは離れて  
いって、授業がかつたるいかつたるい。

辰巳：なるほど。頑張って勉強する人にとってはペース  
が遅くて不満だと。ボクはダラダラ派やったからちょ  
うどよかったけどね。

浅野：あと、1クラスの人数が多いわけ。ボクのいたク  
ラスは12人やったね。教師が一番出来の悪い生徒にあ  
わせて授業するから、これも不満やったね。

辰巳：なるほどなあ。

浅野：あと、教師の質ね。

辰巳：大学やから質はそこそこいいでしょ？

浅野：それが違うのよ。

辰巳：そうなの？



浅野：教師は3種類いてね。まずは正式な職員、これは

まずまず。

あと退職教諭、これはだいたい発音が最悪。ほとんど上海人やしね。

最後は、その大学の本科生の練習。

辰巳：練習？

浅野：要するに、教師の卵の実験台なわけ。大学としたら安いギャラで使えるし、卵からすれば教師の経験になるからね。

辰巳：なるほどね。授業のペースが遅くて教師の質もイマイチ。いいとこないやん！



浅野：だから、「中国語を真剣に勉強する」というより、「上海ライフをそこそこ楽しむ」やったらいいんやけど、短期間で集中的に勉強したい人には、大学留学はツライと思うよ。ストレスがたまる。

辰巳：でも、そうだからこそ、今 ELC の短期留学がウケているんでしょ？

浅野：そういうことやね。集中して中国語を勉強したい人は ELC、そこそこ上海ライフを楽しみたい人は大学。

辰巳：目的に合わせて選んでもらえたらいいよね。

浅野：そうね。

### 生徒とスクールとの"対話"の時代

浅野：2008 年の大手留学仲介会社の倒産にはびっくりやわ。ってしらんかったけどねホントは。

辰巳：しらんかったんかいな！

浅野：払い込んだ人は災難やねえ。

辰巳：まあ、大手やから信用してただろうからね。

浅野：こういう風に仲介会社の信用が落ちると、留学希望者は直接、現地のスクールに問い合わせしてくる傾向が出てくると思うよ。

辰巳：浅野さんのところは？

浅野：あるね。今までは留学仲介会社に問い合わせをしていたような人が、今では、ダイレクトに ELC にメールで問い合わせしてきている感じがします。

辰巳：浅野さんのところは、仲介会社経由より、ダイレクトの申込のほうが多いのよね？元々。

浅野：そうね。だいたい 8 割が直接問い合わせで、2 割が仲介会社経由の申込かな。

この年末年始のコースなんか、70 人中、留学仲介会社経由の申込者は一人よ。

ほぼ 100%メールで直接の問い合わせ。

辰巳：すると、仲介経由が減ってるわけじゃないわけだ。

浅野：うちはあんまり倒産の影響はないね。ただ今後はネットで一生懸命安くて信頼できる語学スクールを探して、直接申込みが増えると思う。

辰巳：すると、それにきちんと対応できる語学スクールが生き残ると。

浅野：それと、渡航前に料金を支払うシステムの見直しをしたほうがいいね。

辰巳：というと？



浅野：だって、渡航前にレッスン料金とか全部払い込んでいくでしょ？みんな。

辰巳：留学仲介会社経由の人はそうでしょ、そりゃ。

浅野：で、その留学仲介会社が倒産。

辰巳：今回の場合はそうね。

浅野：予約だけしておいて、現地で全部支払えばいいやん。現地でそのスクールの様子とか対応を見てから、納得して支払う。買物はだいたいそうでしょ？モノを見てから買う。これ基本よ。それを、大手だからって信用して先に金を払うから、持ち逃げされるわけよ。



辰巳：なるほどね。

浅野：日本人は金を先に支払えば、きちんと予約が出来るという神話を信じ過ぎるのよ。特に海外旅行とか留学なんていう外国のモノに対して。

外国でもなんでも、モノを見てから納得してから買う。

これからはそういう時代ですよ。

### 代表二人の夢物語

浅野：2009年は厄年です。私。

辰巳：42歳ですか？

浅野：数えでね。

辰巳：厄年に描く浅野さんの将来の夢を聞いてみたいなあ？

浅野：まず近い将来でいえば、ELCの安定化やね。

世間の好況不況にかかわらず、ナニかを勉強するという事は大切なこと。それを提供する場所を運営しているということは非常にいい事業をやっていると思っています。だからできるだけ長くこの事業を継続させていきたい。そのために、まずは今年、安定させたいと思っています。

辰巳：それは集客の面で？

浅野：もちろんそれもあるけど、他にもスタッフ、資金、教師、設備、いろいろな面でまだまだ足りないことがあるからね、充実させていきたいですね。

浅野：辰巳は？

辰巳：そうねえ。やっと昨年、黒字化に成功したところやから、ウチももう一年安定させたいなあ。

それで、2010年に飛躍させるための足がかりにしたい。

浅野：将来的には、RLCをどうしたいの？

辰巳：まだそこまで考えてないですねえ。正直。浅野さんは？

浅野：語学スクールは人が集まる場所。特にELCは日本から来る社会人の方々がほとんどで、みんな中国語をマスターしたいという人ばかりやから、そういった人の集まりのなかで強力なコミュニティを作って、中国語学習というのをコアにした新しい事業をやりたいと思っています。まだ漠然としてるけどね。

辰巳：まあ、とにかく2009年、世の中は不況だけど、お互い頑張りましょうね。

浅野：そうね。がんばろう！

